

## 第60回栃木県中学校新人体育大会（軟式野球）

### 第28回関東・東北・北信越少年新人軟式野球大会栃木県予選

#### 文部科学大臣杯第17回全日本少年春季軟式野球大会ENEOSトーナメント栃木県予選 大会要項

- 1 目的** 栃木県中学校体育連盟主催大会は、中学校教育の一環として生徒に広くスポーツ実践の機会を与える、体力・技能の向上と、スポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な生徒を育成する。また、スポーツの交流を通じて各学校及び生徒間の親睦を図り、生涯スポーツの基礎つくりに寄与する。
- 2 主催** 栃木県中学校体育連盟 栃木県教育委員会 栃木県市町村教育委員会連合会
- 3 後援** (公財)栃木県スポーツ協会 栃木県中学校長会 (一財)栃木県野球連盟  
栃木県少年野球協会 株式会社下野新聞社 ナガセケンコー株式会社
- 4 期日** 令和7年10月17日（金）・18日（土） ※予備日20日（月）
- 5 会場** エイジックスタジアム 栃木県総合運動公園B球場 真岡ハイトラ運動公園市民球場  
とちぎ木の花スタジアム
- 6 競技方法**
- (1) 全試合トーナメント方式、7イニング制とする。
  - (2) 1ゲーム7回戦。ただし、5回以降7点差が生じた場合には、全試合においてコールドゲームを適用する。また、暗黒、降雨などで7回までイニングが進まなくても、5回を終了すれば試合は成立する。
  - (3) 全試合において、暗黒・降雨などで5回以前に中止になった場合、または、5回を過ぎ、試合成立になって、同点で試合が中止になった場合は、特別継続試合を適用する。
  - (4) 7回を終了しても勝敗が決しない場合、8回よりタイブレーク方式を適用する。
- <タイブレーク方式>
- 継続打順で前回の最終打者を1塁走者とし、2塁走者は最終打者の前の打者とする。無死1・2塁の状態にして1イニングを行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合、以後継続打順で勝敗が決するまで繰り返す。代打・代走はルールどおり認める。
- 7 競技規則**
- (1) 2025年公認野球規則並びに2025年(公財)全日本軟式野球連盟競技者必携による。大会特別規定は別に定める。
  - (2) 大会使用球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認(M号)とする。
  - (3) その他、使用器具・装具は、(公財)全日本軟式野球連盟及び栃木県中体連軟式野球大会・少年軟式野球大会申し合わせ事項に準ずる。
- 8 大会特別規定及び確認事項**
- (1) 投手の投球数は、1日100球とする。ただし、100球に到達した打者の打撃が完了するまでの投球は認める。1週間の総投球数は350球とする。
  - (2) シートノックは通告より5分以内とする。
  - (3) メンバー表の提出は、前試合4回終了時に監督と主将が5通（本部、審判、放送、相手チーム、自チーム）持参し、球場本部に集合する。同時に攻守を決定する。なお、第1試合のチームは試合開始予定時刻の40分前にメンバー表の提出及び攻守決定を行う。
  - (4) 試合の進行や大会運営上の問題が生じた場合、大会本部と審判で協議・決定する。
  - (5) 天候不良等、大会開催の判断がしにくい場合は、学校待機も起り得る。
  - (6) その他については、代表者会議にて、栃木県中体連軟式野球大会・少年軟式野球大会申し合わせ事項の内容と併せて確認する。
- 9 参加資格**
- (1) 県中体連加盟の学校に在籍し、当該競技要領により、参加資格を得た者。
  - (2) 地域クラブ活動の大会参加については、「栃木県中学校体育連盟主催大会への地域クラブ活動の参加資格等の特例」により、参加を認める。
  - (3) 参加する生徒は、学年・修業年限が一致していること。ただし、その年度の6月30日までに、地区中体連を通じて県中体連に申し出、承認を得た生徒についてはその限りではない。学年外【様式1・2・3】
  - (4) 選手の大会参加については、1競技を通じて同一チームからの参加とする。
  - (5) 本大会の地区予選参加後に転校した場合、転出先での同一競技の出場は認めない。ただし、本大会の出場権を得た個人種目についてはその限りではない。
  - (6) 合同チームの大会参加については、「栃木県中学校体育連盟合同チーム参加規程」により、参加を認める。ただし、地域クラブ活動の合同チームは認めない。
  - (7) 拠点校部活動の大会参加については、「栃木県中学校体育連盟拠点校部活動参加規程」により、参加を認める。拠点校【様式1】
  - (8) 本大会のプログラム及び中学野球熱戦譜、報道発表、ホームページにおける氏名・学校名・学年・写真等の掲載については、本人及び保護者の同意を得ている者とする。
- 10 監督・引率**
- (1) 参加生徒の監督・引率は、出場校の教員・部活動指導員（※）とする。  
部活動指導員が引率・監督を務める場合は、部活動指導員【様式1・2】「部活動指導員確認書（校長承認書）」に必要事項を記入し、大会事務局に参加申込時に提出する。なお、部活動指導員は他校の引率者及び依頼監督にはなれない。なお、地域クラブ活動の引率・監督については、別に定める。  
※「部活動指導員」とは、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者をいう。

- (2) 教員・部活動指導員が引率できず、学校設置者の承認のもと校長がやむを得ないと判断した場合に限り「栃木県中学校体育大会監督・引率細則」により、校長が引率者として適切であると承認した外部指導者に引率及び監督の資格を認める。  
外部指導者が引率・監督を務める場合は、外部指導者【様式 1・2】「外部指導者確認書（校長承認書）」に必要事項を記入し、参加申込時に提出する。
- (3) 栃木県中学校体育連盟の主催大会に出場するチーム・生徒の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者または学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。また、地域クラブ活動の指導者においては、日本スポーツ協会公認指導者の処分等に該当しない者であることとする。さらに、指導者が校長（代表者）から暴力等に関する指導処置を受けていないこととする。校長（代表者）はこの点を確認して、大会申込書を作成する。

## 11 外部指導者

- (1) 当該校長が、人格・指導面において優れていると認めた 20 歳以上の成人で、学校の教育方針に基づき、顧問教員の指導計画に従い、日頃から指導にあたっていること。
- (2) 当該校以外の中学校教職員は、外部指導者になれない。
- (3) 規則違反・不適切な言動等があった時は、専門部長または競技委員長から当該校の校長に連絡がある。

## 12 参加者

- (1) 1 チームの編成は、監督、部長、コーチ（職員・外部指導者）、選手 20 名以内の主として男子で構成された、計 23 名以内のチームとする。
- (2) 校長は、これ以外にベンチに入ることができる。
- (3) 選手の背番号は 1 ~ 20 とし、原則はポジション順とする。また、監督は背番号 30 、部長、コーチは背番号 29, 28 を付けるものとする（外部指導者は背番号 28 とする）。なお、外部指導者が引率・監督を務める場合はその限りではない。

## 13 参加チーム数

全 16 チーム  
宇河 3 鹿沼 1 日光 1 芳賀 2 下都賀 3 塩谷 1 那須 2 南那須 1 佐野 1 足利 1

## 14 安全対策

大会期間中における安全対策及び緊急時の対応については、栃木県中学校体育連盟危機管理マニュアル及び EAP シートにより適切に対応する。

## 15 災害等で大会期間中の続行が不可能な場合の上位大会進出チームの選考の仕方

栃木県中学校体育連盟軟式野球専門部としては以下のとおりとする。  
・災害等で大会期間中の大会続行が不可能な場合、大会会期を延長して大会を継続することを基本とする。  
・上位大会の出場手続期限に間に合わないなど、上位大会の運営に支障を来す可能性がある場合には、臨時の役員会を開催し、上位大会に進出する代表の決め方について、抽選も含め協議する。

## 16 代表者会議

- (1) 日時：10 月 7 日（火） 14:30 ~  
(2) 場所：宇都宮市立清原中学校  
(3) 申込：大会登録用紙 2 部提出  
(1 部はコピー可。栃木県少年野球協会 HP よりダウンロードして作成する。)  
※地域クラブ活動については、「地域クラブ活動審判員資格確認書（中体連主催大会用）」に必要事項を記載の上、当日持参し提出すること。

## 17 開始式並びに表彰式

<開始式> 実施しない。  
<表彰式> 準決勝戦及び決勝戦終了後にそれぞれの会場にて実施する。

## 18 その他

- ・優勝チームは、文部科学大臣杯第 17 回全日本少年春季軟式野球大会 E N E O S トーナメントに出場する。  
期 日：令和 8 年 3 月下旬  
場 所：岡山県 倉敷マスカットスタジアム 他  
・優勝、準優勝チームは、第 28 回関東・東北・北信越少年新人軟式野球大会に出場する。  
期 日：11 月 8 日（土）・9 日（日）  
場 所：エイジエックスタジアム、栃木県総合運動公園 A 球場・B 球場・C 球場